

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	消防本部
	09011-1	防火水槽整備事業	室名	消防総務室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財 会計	一般会計
	基本施策	05:防災力の強化	務 款	消防費
	施策の方向	05:消防力の充実・強化	科 項	消防費
戦略プロジェクト		目 目	消防施設費	

② 目的・概要	対象	市民、消防職員
	目的	火災防ぎょ活動を迅速・的確に実施するため、消防水利の基本である防火水槽を計画的に新設し消防力の充実強化を図ることを目的とする。
	概要	建築物の密集状況及び地域間のバランス等を勘案し防火水槽(40㎡以上)を設置する。

			27年度	28年度
①	名称	各年度防火水槽設置計画数	計画値	
	補足		実績値	1
			単位	基
②	名称	平成27年度防火水槽設置完了数	計画値	
	補足		実績値	2
			単位	基
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					・辺法寺町地内 耐震性防火水槽(40㎡)設置 (平成26年度からの繰越事業) ・天神二丁目地内 耐震性防火水槽(40㎡)設置			
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,365		
	国庫支出金		15,040	13,498	一般職員人件費 ②	1,365	平均給与額×③	
	県支出金				所要人員 ③	0.18		
	地方債		9,200	8,300	臨時職員人件費 ④			
	その他				受益者負担額 ⑤			
	一般財源		5,840	5,198	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額		3,895				
		総人件費		①	1,365			
	総コスト		⑥	14,863				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	平成26年度から繰越しとなった1基を含む2基を設置し、消防水利の充実が図れた。	総合判定
			B
			まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	消防庁の「消防施設整備実態調査」では、本市の消防水利の充足率は67.1%と、県平均(76.1%)よりも低率であるため、今後の消防水利の整備促進が喫緊の課題である。 なお、平成27年度事業は、昨年度からの繰越事業分1基を除く本来の設置計画分は、事業用地が狭隘であったため、高コスト工法となり、1基のみの設置となった。
	【改善の方向性】	消防水利の充足率を向上するために、防火水槽の計画的な整備を推進する。 なお、可能な限り、施工が容易な事業用地を調査、選定し、1基あたりの施工コストを削減する。 また、整備にあたっては、より有利な財源の確保に努める。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 消防総務室長 宮崎 郁太郎
--------------	---------	------------------------